



# 緑の風



緑東中学校だより No.3  
文責 荒川 国博  
令和6年6月17日発行

## 【緑東中の教育目標】

**ふる里を大切に思い、心豊かでたくましく生きる生徒の育成**  
～自分で考え、他と協力し、共に高め合う人へ～

## 生徒が授業の主人公！ 第1回「研究授業」実施

授業は誰のものでしょうか。もちろん、子供たちのものです。それでは、どういう授業が子供たちのものと言える授業でしょうか。

例えば、次のような姿が授業で見られたとき、その授業は“子供たちの”授業となっていると考えます。

- ① 子供たちが、「なぜかな?」「どうしたらできるのかな?」という問いをもつ。
- ② 子供たちが、その問いを解決する方法を考えたり、考えた方法を試したりしながら、一人一人が自分なりの答え（考え）をもつ。
- ③ 子供たちが、それぞれが考えたことを他の人に伝え合い、それぞれの考えのよさを取り入れながら、最初にもった問いを解決する。あるいは、自分なりの最適解に近づく。
- ④ 子供たちが、学んだことや自分の高まりを自覚し、次の学びへの意欲をもつ。

気付かれたと思いますが、主語は「子供たち」です。

では、先生は何をするのでしょうか。

先生は、いわば黒子となり、①～④の姿が見られるように、調整する役割です。

「えっ、先生は知識や技能を教えるんじゃないの?」「先生は説明をしないの?」と思われたかもしれません。もちろん、そういう場面も必要です。ただ、先生が一方的に教えている、先生がずっと説明している授業になっているならば、一番学んでいるのは先生です。考えたことを最も話したり、知識や技能を最も駆使したりしているのが先生だからです。

ずっと先生の話聞くだけ、先生に言われた通りにやるだけ、そんな授業が続くならば、子供たちは授業をどのようにとらえるでしょう。

「授業って、教えてもらう時間なんだ。」「だまって先生の説明を聞くのが、授業なんだ。」と思ってしまう。まさに「受け身」です。

先述した子供たちを主語とした①～④の姿は、学校に限らず、子供たちが社会に出て、様々なコミュニティ（家庭・地域・職場等）に所属した時に活かされる学びの姿だと思います。よりよいコミュニティにするため、そのコミュニティの課題を「自ら」見出し、「他者」と協力しながら課題の解決に取り組む。そのように活かされる学びです。

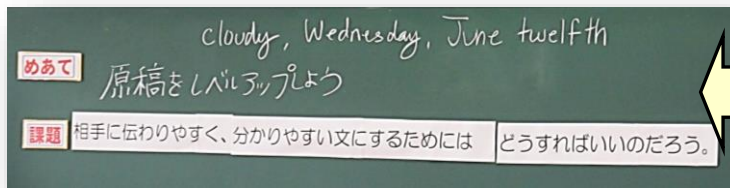
世の中をたくましく、そして、よりよく生きていく力を、授業で身に付けるのは子供自身です。子供たちが、「自らを授業の主人公である」と自覚し、「教室で学ぶことは生きていく力を身に付けること」と感じられる、そんな授業を目指しています。

目指す授業に改善するため、また、先生方一人一人が自分の授業を振り返る場として、どの学校でも「研究授業」を行います。

緑東中学校では、6月14日（水）、山内聡子先生（英語）が、2年生の子供たちと第1回の研究授業を行いました。この授業に至るまで、2年生の子供たちは「12月の修学旅行で行きたい場所について、英語でスピーチする」というゴールを設定し、スピーチ原稿を作成してきました。

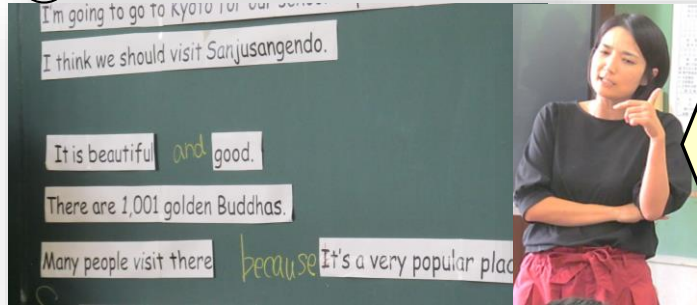
子供たちが課題解決の意欲をもち、互いに協力しながら課題解決に取り組んだ今回の研究授業について、右のページに授業の流れに沿って紹介します。

①



スピーチ原稿にまだ自信のない生徒は、原稿を「レベルアップさせたい」と思っています。そこで、山内先生は生徒とともに、「相手に伝わりやすく、分かりやすい文にするためにはどうすればいいのか。」という課題を設定しました。

②



でも、生徒は具体的なレベルアップの方法が分かりません。そこで、山内先生は、例文を提示し、「接続詞」を使ったり、文の順番を入れ替えたり、文と文をつなげたりする方法に気付かせ、レベルアップの仕方について見通しをもたせました。

③



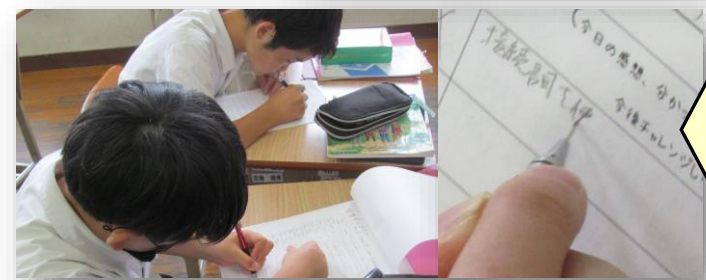
生徒は、自分の原稿をレベルアップするため、原稿を見直し、修正します。その際、文を動かしたり、つなげたりする作業をタブレット端末（パソコン）で行います。パソコンを使うよさは、自由自在に編集できること、保存できること、先生や他の生徒が作業の状況やそれぞれの考えを共有できることなどです。

④




生徒は、自分の原稿（パソコン）をグループで見せ合い、アドバイスをもらいます。友達からのアドバイスを取り入れ、改善する姿がありました。（上の写真）  
また、山内先生は悩んでいる生徒の原稿をモニターで提示し、他の生徒に「〇〇さんが困っています。どうすればよくなるかな。」と投げかけ、悩みを共有し、みんなで解決を図ろうとしていました。（下の写真）

⑤



生徒全員が、最初に書いたスピーチ原稿からレベルアップしました。学習の振り返り（学習の感想）にも、自分の学びをしっかりと書いていました。

 よかったら見てください  
緑東中ホームページ

日々の生活の様子、授業の様子等を定期的に更新しています。  
「緑東中学校」で検索できますので、見ていただければ幸いです。

